

骨髓バンク NEWS

井つなげプロジェクトオレンジ
Tsunage Project Orange

未来をつなぐ、
ヒーローたち。

献血登録ドナー登録啓発LIVEイベント
THE BANK
+ ENJOY SOCIAL ACTION WORK! +



vol.
68

新たに **19,421** 人がヒーローに!※1 現在 **564,369** 人がドナー登録中です。※2

※1 2025年10月～2026年5月の新規登録者数 ※2 2026年5月末時点

みんなの 骨髓バンク会議

第1回

骨髓バンクが、世の中の人にとってもっと身近になるために。
正しい情報の伝え方や仕組みについてのご意見や
アイデアを募集するコーナーです。

そのドナー登録、いざという時に機能しないかも？

患者さんとHLA型が一致し、「ドナー候補者」に選ばされると、スマートフォンのショートメッセージサービス(SMS)で通知が届きます。しかし、健康理由以外でコーディネートが終了となるケースのうち、約2人に1人は「連絡が取れない」ことが理由です。

そこで、みなさんに「連絡が行き届く」ためのご意見やアイデアを募集します！住所・携帯番号の更新を思い出せる仕掛け！安心して開けるSMSの最初の一文！など、なんでも構いません。ぜひ下記の二次元コードより、投稿をお願いいたします。

アイデアの応募は
こちらから

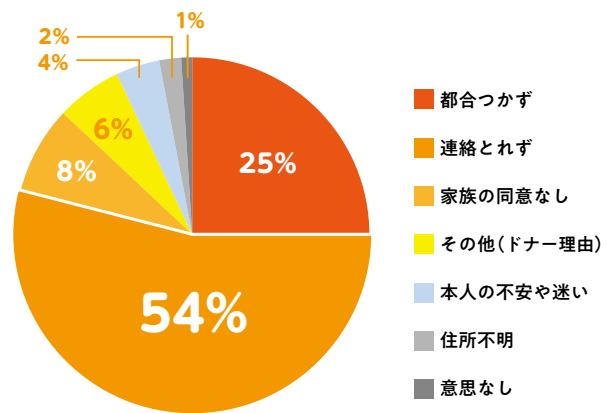


登録内容の変更は
こちらから



ドナー登録者が骨髓・末梢血幹細胞提供 をできなかった理由(健康以外)

下のグラフは、問診票の段階でコーディネート終了となった健康以外の理由を示したものです。



PROJECT REPORT

プロジェクト活動報告

つなげ！ 骨髓バンクサミット

2026.03



2026年3月1日、『つなげ！ 骨髓バンクサミット～未来の主役が集まり、動き出す1日～』を開催しました。本イベントの目的は、スワブ登録の本格スタートを前に若い世代と企業が連携し、ドナー登録者を増やすための具体的なアクションを生み出すこと。

学生、ユースアンバサダー、株式会社ファミリーマート、タリーズコーヒージャパン株式会社、READYFOR株式会社、一般社団法人SNOWBANKが集結し、ラジオディレクター石井玄さんも参加。「学生には何ができるか」「企業にはどんな関わり方があるか」をぶつけ合い、実行まで見据えた複数の企画案について議論を交わしました。会場では写真家・幡野広志さんの写真展も実施。言葉だけでは届きにくい想いを受け取っていただく場として、多くの来場者が足を止めてくださっていました。今後は検討案を磨き込み、スワブ登録導入期に向けて実行と発信を積み上げていきます。

HERO'S SUPPORTER

～ ヒーローを支える人たち ～

♥ 一般社団法人 SNOWBANK



一般社団法人SNOWBANKは、音楽やスノーボードをはじめとしたカルチャーを起点に、献血や骨髄バンクのドナー登録を広げる活動を行っている団体です。若年層との接点を活かし、身近な文化と社会課題を掛け合わせることで、「誰かのための行動」を自分ごととして捉えられる場をつくり続けています。楽しさの延長にある社会貢献という新しい関わり方を提示しています。

2011年に始まった「東京雪祭SNOWBANK PAY IT FORWARD」は、代々木公園に雪の特設エリアをつくり、スノーボードや音楽、フードが一体となった都市型フェスとして展開されています。東京のど真ん中に雪景色が立ち上がり、来場者は遊びやライブを楽しみながら、献血や骨髄バンクドナー登録について知り、その場で行動につなげることができます。

一方、2022年に大阪でスタートした「THE BANK」は、音楽ライブを中心としたイベントです。音楽を楽しむ体験の延長線上で自然と社会貢献に出会える場をつくることで、これまで関心のなかった人にも新たな一歩を促しています。東京と大阪、それぞれの場から「楽しさ」を入口に、命をつなぐ行動の輪が広がっています。



SNOWBANK実行委員長・プロスノーボーダー

荒井DAZE善正さんの想い

1979年東京都生まれ。16歳でスノーボードを始め、国内外で活動。2007年に難病「慢性活動性EBウイルス感染症」を発症し、骨髄移植を経験。復帰後、「SNOWBANK」を立ち上げる。

「社会貢献を、特別なものにしない」

自分の命は、誰かの行動でつながりました。だから次は、自分がその先の誰かへ渡していく番だと思っています。「Pay It Forward」という考え方を大切にしながら、社会貢献を特別なものにしない。音楽やスノーボードといったカルチャーの中に、その入り口をつくることで、誰もが自然に関われる形を広げていきたいと思っています。

Let's
Action!



SNOWBANK主催イベントの詳細はこちらから

SNOWBANKの活動は、「Pay It Forward」の考えのもと広がっています。公式サイトでは、その取り組みやイベント情報が紹介されています。イベントへの参加や支援など、それぞれの形で関わる一歩としてぜひご覧ください。

SNOWBANK
公式HPはこちら



HERO'S LIFE

毎号ひとりのドナー登録者さんにフォーカスし、その方の日常や支援の想いを、写真家・幡野広志さんの視点で切り取っていただく企画。34歳の若さで血液がんを発症した経験をもつ幡野さんに撮影いただいた写真は、表紙にも採用されています。ありのままのヒーロー（登録者）の姿をご覧ください！今回は、3月22日（日）に大阪で開催された『THE BANK 2026』を取材した特別回です。



1 骨髄バンクのアンケートに回答いただいた方向けに、オリジナルのタトゥーシールも配布していた。

2 2Fからはフロアが一望でき、ライブの熱気を感じながらも、自分のペースで楽しめる空間になっていた。

人は属性によって似てくるものだ。

人は属性で雰囲気ごとく似てくるものだ。例えば役所で働く人は公務員っぽい雰囲気がある。テレビ局やラジオ局はテレビマンやラジオマンっぽい雰囲気の人がたくさんいて、美大には美大生っぽい学生がたくさんいる。写真家もそうだ。おなじカメラから産まれたのだから似ている。

「THE BANK 2026」の会場にいたのはミュージシャンみたいな人ばかりだった。演者なのか観客なのか判別がつかない。何人かに職業を聞くと保育士やメーカー勤務などミュージシャンは1人もいなかった。

保育士さんと保育園で会えば保育士っぽく見えるし、工場でメーカー勤務の人と会えばそれっぽく見えるはずだけど、ここで会うとみんなミュージシャンに見えるから不思議だ。一体感もたらずものなのかな、本来の雰囲気を上書きするのも音楽の力なのかもしれない。

「THE BANK」は骨髄移植によって命を救われた荒井DAZE善正さんが主催するチャリティー音楽イベントだ。会場で献血や骨髄バンクドナー登録をすることができる。

ゴツイクセサリーや大きなタトゥーが入った人……ばかりではないが、世間一般的にはちょっと怖そうな人たちが献血や骨髄バンクドナー登録をするために列を作っている。層はまったく違って違うけどコミックマーケットと似たような状況だ。同人誌やコスプレが目的ではなく、行列に並ぶというコストをかけてまで献血してくれる。

ライブを目的に来たはずのちょっと怖そうな人たちが、献血後の水分補給でオレンジジュースを飲む姿を見ていると「ちょっと怖そう」なんて思ってしまう申し訳ないかと反省する。かわ

いらしきすらある。ヤンキーと雨の日の子犬の組み合わせにギャップを感じるように、音楽イベントと献血と骨髄バンクドナー登録の組み合わせも見た目のインパクトのギャップが大きいので、「THE BANK」はそのうちSNSやニュースでバズって大きな話題になる気がする。

会場ではスワブでのドナー登録もしていた。従来のドナー登録は採血をしていたが、スワブは口腔内の粘膜に綿棒のようなものをゴシゴシするだけで完了する。ドナー登録窓口に行く必要も採血の必要もなく、自宅に送られたキットを郵送するだけでいい。

スワブの登場でドナー登録のハードルが大きく下がることになる。ただし口腔内の粘膜であるがゆえに、飲食や喫煙をしてから1時間以内は採取できない。

直前にごはんを食べたちょっと怖そうな人が、「ごめんごめん、時間あけてまた来よう！」と立ち去って、本当にまた来てくれる。どれだけ良い人なんだ。こういう良い人たちのおかげで助かる命がある。

※スワブトライアル3は受付を終了しております。本格導入時期については、日本骨髄バンク公式HPやSNSでお知らせいたします。

写真・文 幡野広志
がん患者の率直な想いをブログやSNSで発信している写真家、34歳の若さで血液がんの一種である多発性骨髄腫を発症し、余命宣告を受けた経験を持つ。

ドナー登録者のみなさん、HERO'S LIFEでもあなたのことを紹介させていただきます。どなたでも大丈夫です。お気軽にご連絡をお待ちしています！

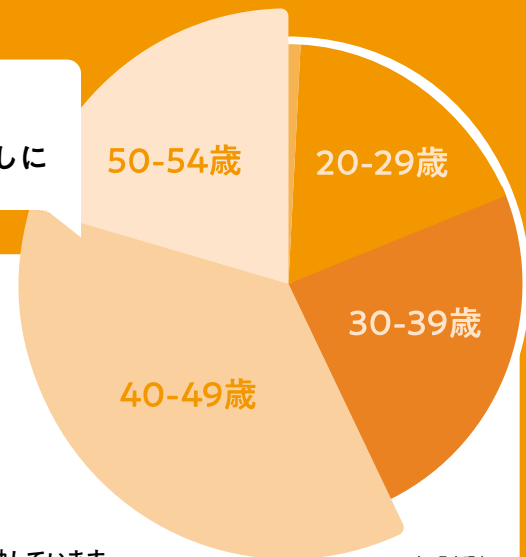
件名に「バンクニュースHERO'S LIFE」と入力ください



●ご支援のお願い

移植を待つ患者さんのために
お力を貸してください

40～50代の多くが
10年以内に登録取り消しに



2026年3月末現在

ドナー登録者の 大卒業時代がやってくる?!

骨髄バンクへの登録には年齢制限があり、満55歳の誕生日で登録取り消しになってしまいます。

10年以内に現在登録している方の40%以上がなくなってしまうという危機的状況に…!

骨髄バンクは、多くの方に提供について知って頂き、特に若い方にドナー登録を考えて頂けるよう活動しています。

課題解決のため、いただいたご寄付がドナー登録者を増やす活動に役立っています。

みなさまからいただいたご寄付は、ドナー登録会の開催や普及啓発資料の作成などに使用しております。より多くの患者さんに移植の機会を届けられるよう、みなさまの温かいご支援をお待ちしております。



寄付にはさまざまな方法があります

ネット募金からメルカリを使った寄付まで、手軽にご寄付いただける方法が多数ございます。寄付の詳しい方法などは、右下の二次元コードよりご覧ください。



クレジットカード



口座振込
・自動引落とし



郵便局(ゆうちょ銀行)
窓口で寄付

ネット募金

メルカリ寄付

各種ポイント

その他方法は
こちらから



寄付についてのご相談・資料請求についてのご連絡

寄付専用フリーダイヤル(平日9:00-17:30)

0120-377-465

！ 携帯電話番号、住所などの情報更新のお願い

連絡が取れないことで、命を救う機会を失ってしまうかもしれません。



登録内容の変更は
こちらから



適合通知はSMS(ショートメッセージサービス)でお送りします。

携帯電話番号が変更になった方、まだ登録されていない方は速やかにお手続きください。

早くおすすめ！

方法
1

Webサイトで手続きする方

ページ右上の二次元コードのリンク先から画面の案内に沿って認証手続きをお願いします。認証後、SMSまたはメールにて専用URLが送信されますので、アクセスのうえ登録内容を確認、変更してください。

[骨髄ドナー登録者 登録内容変更ページ]

※「バンクNEWS」発行のお知らせSMS内に記載されているアクセスコードでも認証
手続きが可能です。

bmdc マイページ

検索

方法
2

電話で手続きする方

お住まいの地域を管轄する日本赤十字社ブロック血液センターまでお問い合わせください。

電話受付時間：平日(月～金) 9:00～17:00

北海道ブロック血液センター

011-613-6683

北海道

東北ブロック血液センター

022-354-7083

青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、
福島県

関東甲信越ブロック血液センター

03-5534-7534

茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、
東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県

東海北陸ブロック血液センター

0561-85-4298

富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、
愛知県、三重県

近畿ブロック血液センター

072-643-1173

滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、
和歌山県

中四国ブロック血液センター

082-241-1614

鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島
県、香川県、愛媛県、高知県

九州ブロック血液センター

0942-31-8974

福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、
宮崎県、鹿児島県、沖縄県

※電話番号下の都道府県は管轄地域

方法
3

献血会場で手続きする方

最寄りの献血会場の受付で、登録内容に変更がある旨をお伝えください。

その場で登録情報変更用紙にご記入いただけます。

※献血会場の所在地、受付時間などは、右の二次元コードから日本赤十字社のサイトをご覧ください。



！ ドナー登録者情報の変更は日本赤十字社へ。それ以外のお問い合わせは日本骨髄バンク(03-5280-1789)へお願いします。